

## 2. 輸 送 状 況

令和5年度は、7月15日の全線運転再開が各社で報道され、全国から多くの注目を浴びた。輸送人員も大幅に増加したが、大半の利用が7～3月に集中しているため、震災前の平成27年度との比較は、別添資料1の統計資料を参照されたい。

年間通しての輸送人員は、前年度81,587人に対し122,308人増の203,895人(249.9%)、平成27年度257,172人に対し53,277人減となった。7～3月を比較すると3,601人減と平成27年度には届いていないが、同期間中の定期券利用者が15,420人減、また平日のインバウンド利用が32,393人減であることから、国内の定期外利用者は大幅に増えている。

定期輸送人員は、前年度60人に対し、39,660人となり、その内、通勤利用は3,060人、通学利用は36,600人であった。平成27年度76,980人に対し、37,320人減となった。

定期外輸送人員のうち、トロッコ列車は前年度55,180人に対し7,918人減の47,262人(85.7%)となったが、高森駅～中松駅間の部分運転時は1日4往復(8本)運行していたが、全線運転再開後は高森駅～立野駅間で1日2往復(4本)へ運行本数が減少したことが要因である。平成27年度42,824人に対し、4,438人増となった。

訪日外国人観光利用客は、昨年度に続き継続的な利用があり、前年度14,967人に対し9,002人増の23,969人(160.1%)であったが、昨年10月に水際対策が緩和された下半期(10月～3月)を比較すると、前年度14,914人に対し377名減の14,537人(97.5%)と、ほぼ同等の利用であった。平成27年度は年間68,201人に対し、44,232人減となった。

輸送人員の推移 (H26年度～R5年度)

上段/人員(単位:人) 下段/比率(単位:%)

項目 年度	定 期 外			定 期			輸送量計
	普 通	トロッコ	定期外計	通勤定期	通学定期	定期計	
26年度	110,577	51,033	161,610	5,640	74,400	80,040	241,650
	45.8	21.1	66.9	2.3	30.8	33.1	
27年度	137,368	42,824	180,192	7,260	69,720	76,980	257,172
	53.4	16.6	70.0	2.9	27.1	30.0	
28年度	20,591	12,867	33,458	586	2,626	3,212	36,670
	56.2	35.0	91.2	1.6	7.2	8.8	
29年度	14,845	30,108	44,953	240	0	240	45,193
	32.8	66.6	99.4	0.6	0	0.6	
30年度	14,289	36,604	50,893	60	0	60	50,953
	28.0	71.8	99.9	0.6	0	0.1	
元年度	16,021	39,854	55,875	0	0	0	55,875
	28.7	71.3	100.0	0	0	0	

2 年度	5,984	23,569	29,553	0	0	0	29,553
	28.7	71.3	100.0	0	0	0	
3 年度	10,350	35,212	45,562	0	0	0	45,562
	22.7	77.3	100.0	0	0	0	
4 年度	26,347	55,180	81,527	60	0	60	81,587
	32.2	67.6	99.8	0.2	0	0.2	
5 年度	116,973	47,262	164,235	3,060	36,600	39,660	203,895
	57.3	23.2	80.5	1.5	18.0	19.5	